



地域と結ぶ

順天堂練馬病院ニュース

開院3年目を迎え

開院して3年目に入りました。“地域の皆様に愛される病院”をモットーに、これからも安心・安全な医療を提供してまいります。皆様のお一人お一人のご意見を、遠慮なく“皆様の声”の箱にお届けください。よりよい病院に皆様と一緒につくり上げていきたいと願っています。



副院長 児島邦明



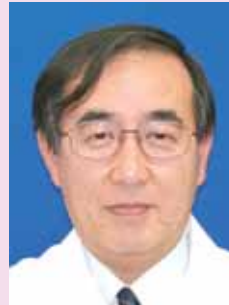
院長補佐 平野隆雄

順天堂練馬病院は本年7月より開院3年目を迎えました。練馬区民の皆様にも愛される病院として、地域の方々に信頼される先進医療を提供できる病院として、職員一同精一杯努力して参ります。今後ともご支援、ご指導のほど宜しくお願いいたします。

消化器内科より C型肝炎に対する東京都の 助成と内視鏡的切除術について

消化器内科 教授 宮崎招久

消化器内科外来には毎月延べ約 2500 名の患者さまが受診されております。外来患者さまの 6 分の 1 の方が初診患者さまです。そして毎月およそ 100 名の患者さまが入院しております。今回は、その中でも比較的多い疾患や最新治療の一部についてご紹介いたします。



消化器内科
教授 宮崎 招久

1. 肝臓—C型肝炎に対する東京都の医療費助成制度

肝機能障害の原因には B 型肝炎ウイルスや C 型肝炎ウイルスなどのウイルス性、アルコール性、自己免疫性などがあります。最近では予後良好とされていた脂肪肝の一部が肝硬変に進展することがわかってきました。消化器内科では、平成 18 年度 4000 件以上の腹部超音波検査を行いました。そして、肝臓の病態を知るための肝臓の組織を調べる肝生検検査を年間約 100 人の患者さまに行いました。

今年 10 月 1 日から東京都では C 型肝炎ウイルスに対するインターフェロン治療医療費助成制度が始まります。都内に引き続き 1 年以上住所があり、東京都が指定する肝臓専門医療機関で、C 型肝炎のインターフェロン治療を要すると診断された方が対象です。助成の期間は、申請書等を提出した月の初日から 1 年間です。問い合わせ先は、区市町村担当窓口です。C 型肝炎は進行するにしたがって肝がんの合併率が増加してきますので早めに治療しましょう。練馬病院は肝臓専門医療機関です。

2. 胃—経鼻内視鏡、ヘリコバクター・ピロリ菌、内視鏡的切除術

消化器内科では平成 18 年度約 3,300 件の胃内視鏡検査を行っています。今年 9 月からは鼻からできる内視鏡（経鼻内視鏡）の検査日をもうけました。胃ポリープや早期胃癌に対して内視鏡的切除術も行っています。また、胃癌とヘリコバクター・ピロリ菌との関連性が話題になっております。当科ではヘリコバクター・ピロリ菌に対する治療（除菌療法）も行っています。

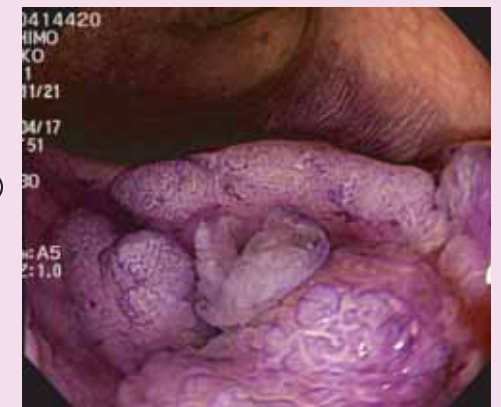
3. 大腸—内視鏡的切除術

平成 18 年度約 1,900 件の大腸ファイバー検査を行っています。そして、大腸ポリープや早期大腸癌の約 750 人に対して内視鏡的切除（ポリペクトミー、粘膜切除術、粘膜下層剥離術）を行いました。



61 歳 女性 早期大腸がん
(大きさ 3cm)

拡大内視鏡像 (色素散布)



内視鏡的切除 3 ヶ月後



病気は
早期発見・早期治療が
大切です!

ペインクリニック外来を開始しました 『痛みについて何でも相談してください』

麻酔科・ペインクリニック 准教授 田邊 豊

●ペインクリニックとは？

主に痛みを治療する診療で「神経ブロック治療」を中心とした方法により痛みを和らげ、日々の生活を過しやすくするのが専門です。痛みは、生体に対する警告反応であり、自分を守るために必要な感覚です。例えば火傷や骨折をしても痛みを感じないと全く気がつきません。それでは困ります。しかし痛みがむやみに、また異常な強さで持続し、日々の生活に支障をきたすようになると、ただ不快な感覚となるだけで治療が必要となります。そのような「痛み」が対象となります。



麻酔科・ペインクリニック
准教授 田邊 豊

●神経ブロック治療とは？

痛みの原因となっている神経やそのかたまりに向かって細い針を刺して、局所麻酔薬などのいろいろな薬を注入して神経の働きを一時的にまたは半永久的に抑えて痛みを和らげる方法で、いろいろな種類があります。用いられる方法は、症状のある部位によって決まります。最も良く行われる方法は、星状神経節ブロックと硬膜外ブロック(写真)です。注射をするときに少しの痛みはありますが、その後に劇的な痛みの軽減を認めることが多くあります。



腰部硬膜外ブロック
腰や下肢に痛みがある患者さまに良く用いられます。飲み薬で良くならない患者さまの70%程度は痛みが和らいでいきます。

●神経ブロック治療だけですか？

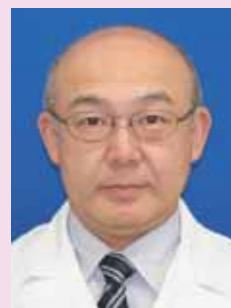
そうではありません。内服薬や軟膏を使うこともありますし、近赤外線照射を用いる光線療法も用いています。また、神経に熱を加えて痛みを和らげる高周波熱凝固療法も用いています。脊髄を電気で刺激し痛みを和らげ、血流を改善する硬膜外脊髄刺激電極療法も行います。痛みにお困りでしたらまず、ご相談ください。無用な痛みは必要ありません。

前立腺生検の勧め

泌尿器科 先任准教授 坂本善郎

●PSA（ピー・エス・エー、前立腺特異抗原）とは？

これは男性にしかない前立腺から分泌されるタンパクで、大変有用な腫瘍マーカーの1つです。通常、血中のPSA値は少ない量しかありません（4.0ng/ml未満）。このため、PSAが上昇する場合には、前立腺で何らかの“事件”が起きています。



泌尿器科
先任准教授 坂本善郎

●PSAはどんな時に上昇するの

それでは、前立腺の中で起きている“事件”とはどんなことでしょうか？その代表が、“前立腺癌”です。その他には“急性前立腺炎”（細菌感染による前立腺の急性炎症）や大きな“前立腺肥大症”があります。この“事件”とは、前立腺の中で組織が破壊されるような事態が起きていることを意味します。

●がん発見率30%は高いか、低い？

PSAの正常範囲は4.0 ng/ml未満ですが、4.1から10.0までの範囲を前立腺癌と肥大症が混在するグレイ・ゾーンといいます。この場合に前立腺生検（前立腺に針を刺して組織を採取する検査）をすると、約30%の人にがんが発見されます。さて、この数字をどう思いますか？ 高いと思いますか？

そうでもないと思いますか？ もちろん、PSAが高くなるにつれて、がん発見率はさらに上昇します。

●前立腺12カ所生検の勧め

当院では2泊3日の入院で、全身麻酔をかけて前立腺12カ所生検をしています。検査は痛みや合併症もなく、約20分間で終了します。検査後は歩いたり、飲食したりできます。

PSA高値を指摘された方、あまり心配なせずに、是非泌尿器科外来でご相談ください。

骨盤臓器脱の新しい手術法:メッシュを用いた手術

産科・婦人科 先任准教授 中村 靖

股のところに丸い玉のようなものが飛び出てきた。臓器が下がって腔から出てくる。股に何かが挟まったようになって、おしっこが出しにくい。こういったことで不便を感じておられる中高年の女性が多くいらっしゃいます。これらは骨盤臓器脱といって、子宮や膀胱といった骨盤内の臓器が、腔のところから下がってきた状態です。何とかしたいけれど手術を受けるのはこわい・・・とお考えではありませんか？負担が少なく、効果が確実な新しい手術方法が開発されています。順天堂練馬病院でも本年7月からこの手術が可能になりました。



産科・婦人科
先任准教授 中村 靖

●メッシュ手術の良いところは？

いままでの手術法は、緩んだ組織を自分の組織で補強していましたが、部分的な補強でしかなく、再発率が高い、別の場所がまた下がってくる、締め付けられる痛みが残る、などの問題点がありました。メッシュを使用することにより、体の負担も少なく、しっかりした補強で再発も少ない手術が可能になりました。

●現在、リングで押えているのですが…

腔内ペッサリーによる整復は、一時的な効果はありますが、炎症を起こしてオリモノがふえたり、出血を起したりといったトラブルも多いのです。また、腔の壁が薄くなったり、硬くなったりといった問題を起こします。可能であればいずれは手術療法を行うことが望ましいです。

●入院期間は？医療保険は使えるの？

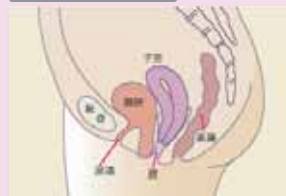
術前術後含めて約1週間の入院です。保険診療が可能です。

現在不便を感じておられる方、心当たりのある方は、ぜひ婦人科外来へご相談ください。

正常な状態



性器脱の状態（膀胱癌の場合）



尿道よりも膀胱が下がってしまい、尿が出にくくなる。

出産などで骨盤底がゆがみ、臓器が腔から飛び出してしまう。



メッシュで膀胱と臓器の間を補強します

メッシュ側面



がん治療センター

前任准教授 花澤喜三郎

がん治療センターは平成17年の当院開院時より設立されたセンターです。我が国ではがんが死亡原因の第1位となり、約3人に1人ががんで死亡する状況で、国を挙げてがん対策に力を注いでいます。当センターは練馬区周辺のがんの早期診断、集学的治療を目的に運営をすすめています。特に早期診断のためのPET検査、がん放射線治療のための最新治療装置を導入し、がんの早期診断および最善の治療が可能になるよう努めています。



前任准教授 花澤喜三郎

●放射線治療

最新の医療機器を導入いたしました。
特にコーンビームCTの導入により、腫瘍の位置を動画で確認し、病巣にのみ絞って多方向より照射できる、いわゆる体に優しい放射線治療が実践できます。



リニアック

●放射線診断

がん治療センター内に併設されているRI室にはPET装置も備え、がんの存在診断や転移・再発診断、そして治療効果判定にも有用です。同RI室のガンマカメラや放射線画像診断センター内のCT・MRIも、同様に『がん診断』を通じて『がん治療』をバックアップいたします。



PET



CT



MRI

予約センター 開設いたしました!

紹介状をお持ちの患者さま
個人から直接診察予約をお
受けいたします。

電話番号
03-5923-3240

受付時間
午後1時～4時

受付曜日
月曜～金曜日(平日)



看護師長：三島くみ子

優マーク(優良防火対象物認定証) を取得しました。



優マーク(優良防火対象物認定証)とは、建物の防火安全性を高め、都民の皆さまの安全・安心を確保することを目的として平成18年10月に創設されたものです。

法令基準への適合のほか、建物関係者による防火上の安全性を高めるための自主的な取り組み等を消防機関に評価されたものです。練馬区内の病院での取得は、当院が初めてです。